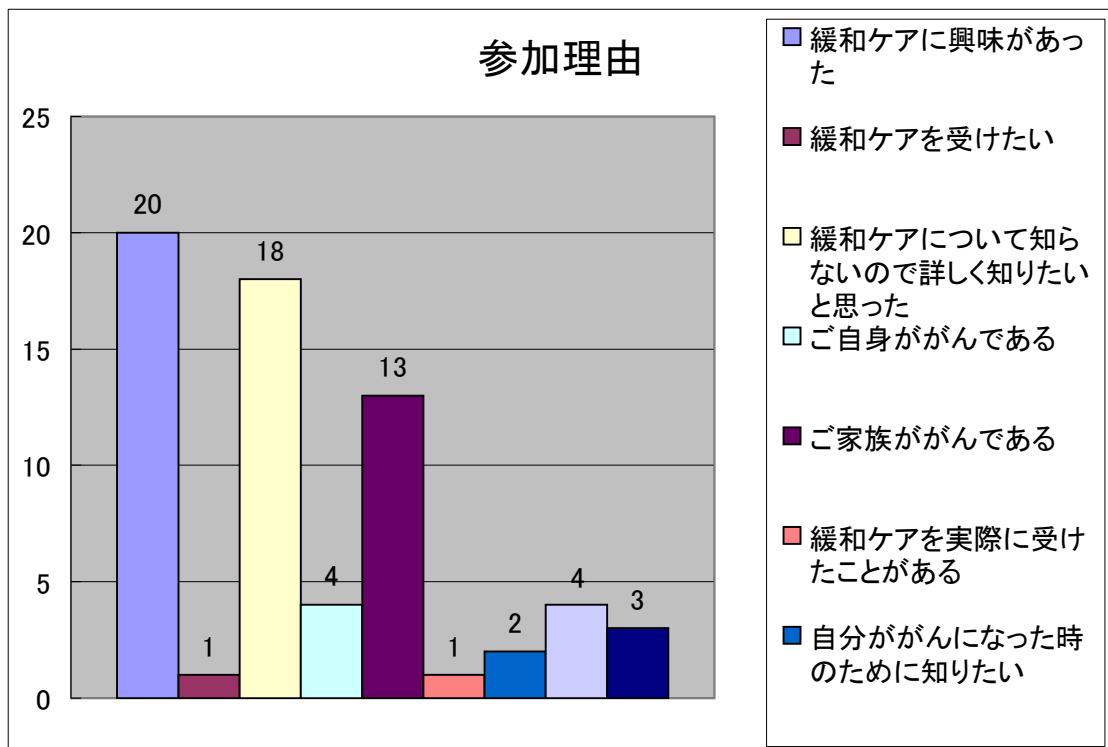
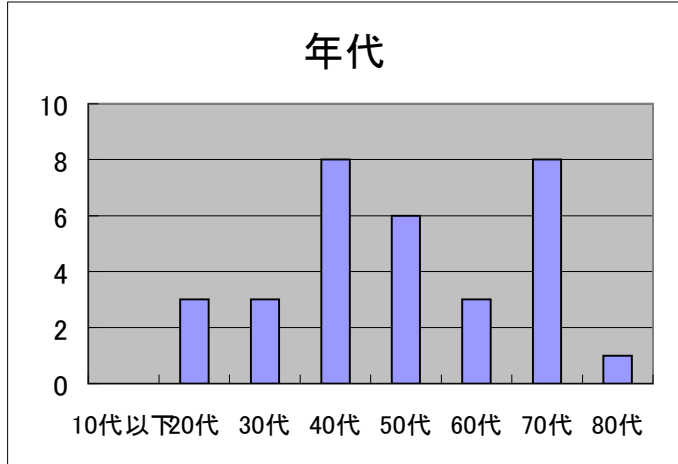
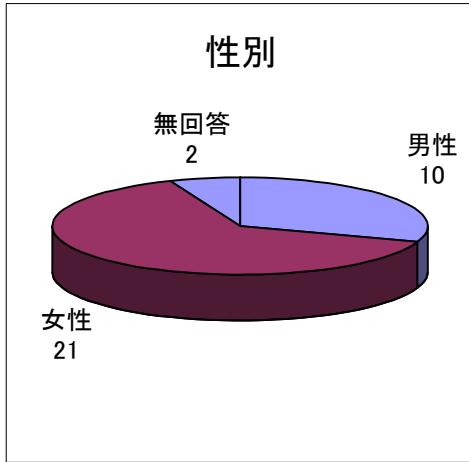


平成27年度市民医療講座「緩和ケアってなに？」参加者アンケート結果

12月5日(土曜日)開催の医療講座において、参加者のみなさまに講演開始前と講演終了後にアンケートのご協力をいただきました。結果は以下のとおりです。

1.講演開始前アンケート

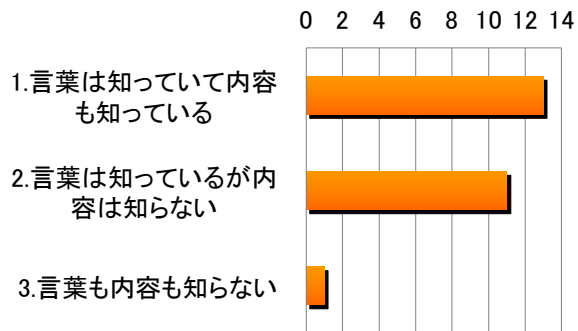
回答者:33名



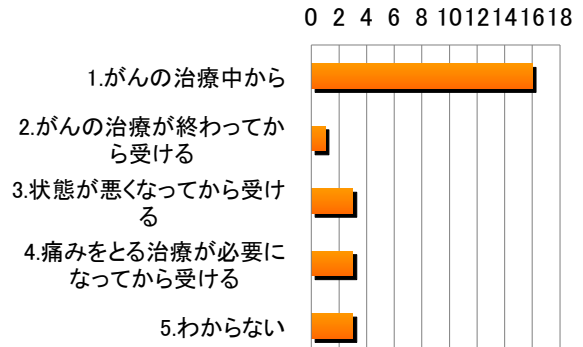
自由記載欄

妻を数年前にがんで亡くし、その後ボランティアをしている。多くの出会いと別れを経験した。緩和ケアを受けることにより、心が落ち着き、安ら became になった。

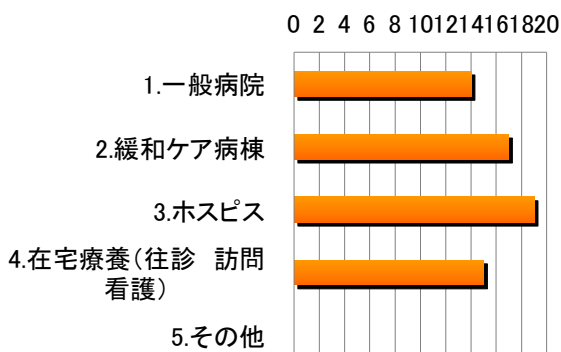
問1.緩和ケアという言葉をご存じですか



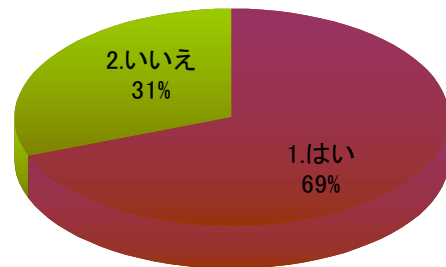
問2.緩和ケアを受けるのはいつから？



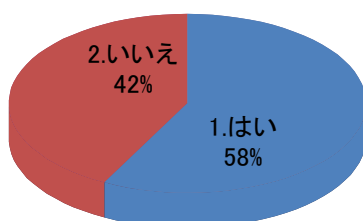
問3.緩和ケアを受ける場所はどこ？



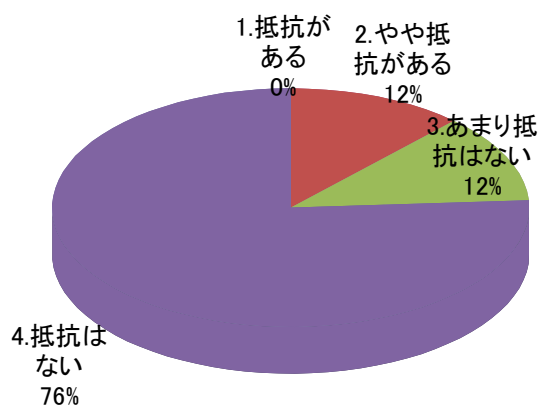
問4.緩和ケアはがんの痛みのある人への治療というイメージがありますか



問5.緩和ケアは、終末期のがん患者へのケアというイメージがありますか



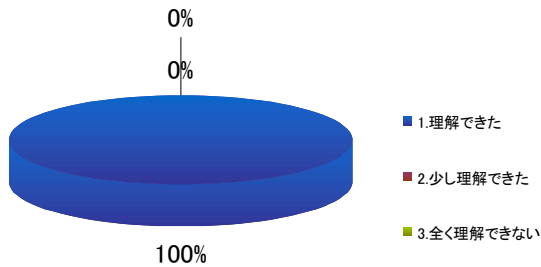
問6.緩和ケアへの抵抗感



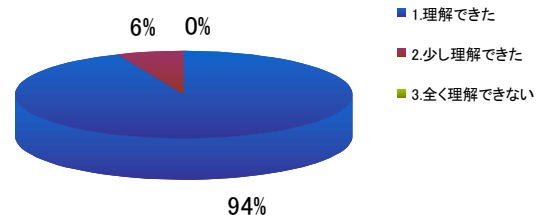
2.講演終了後アンケート

回答者:31名

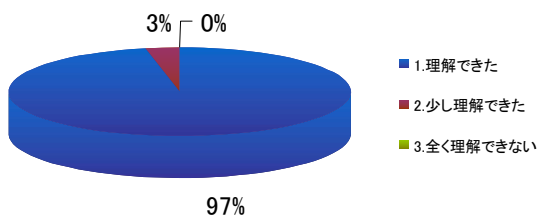
問1.緩和ケアは身体の痛みだけでなく心の痛みにも対応できる



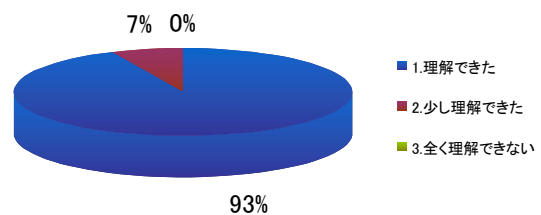
問2.緩和ケアはがんの初期から受ける



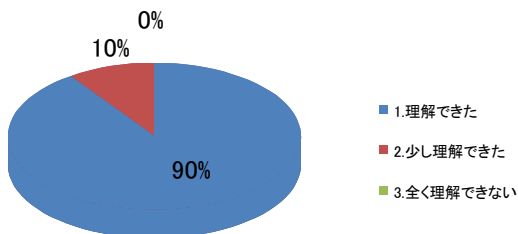
問3.緩和ケアは在宅などの地域の中で受けることができる



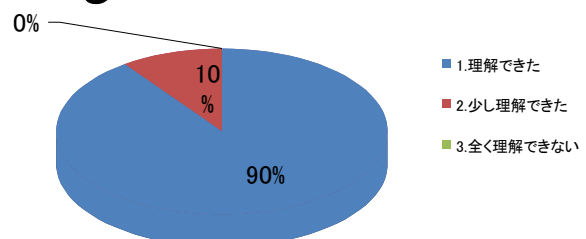
問4.緩和ケアはボランティアなどいろいろな人の協力を得て行われる



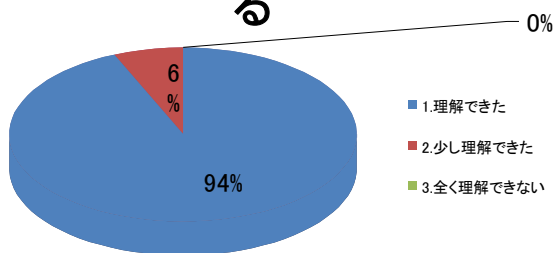
問5.緩和ケア病棟以外でも緩和ケアをうけることができる



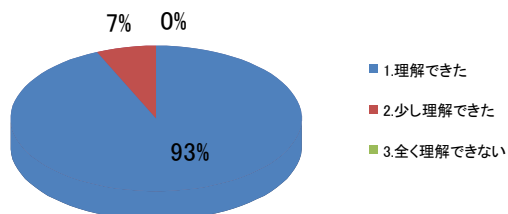
問6.緩和ケアを受けることで生活の質は改善する



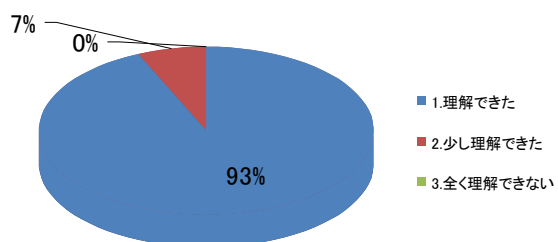
問7.緩和ケアは自分らしさを大切にできるケアである



問8.在宅・ホスピスはその人らしく生きることができる生活の場である

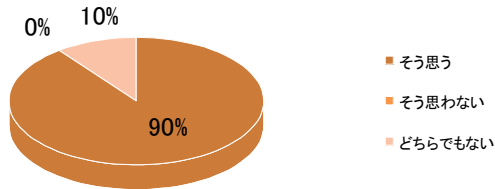


問9.それぞれの違いを知って希望する療養を選択することができる

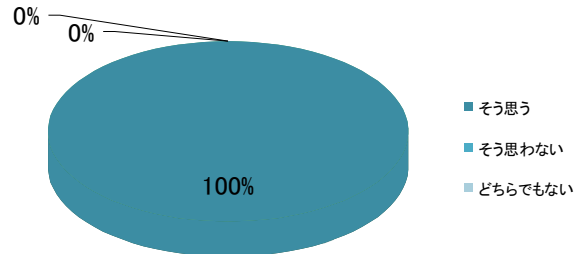


本日の講演を受けて緩和ケアの印象

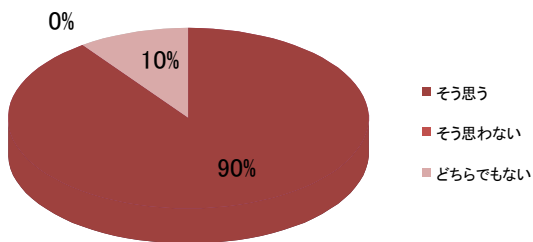
問1. 今後緩和ケアを受けたいと思った



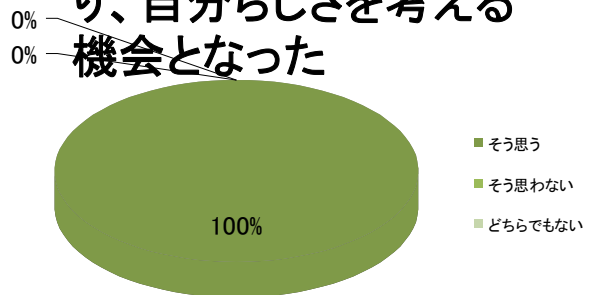
問2. 自分や家族ががんになった時に緩和ケアに抵抗がなくなった



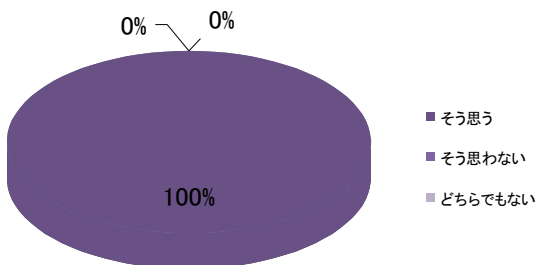
問3. 周りの人にも緩和ケアを知ってほしい、学んでほしい



問4. 緩和ケアは自分らしさを大切にするケアと知り、自分らしさを考える機会となった



問5. がんの症状や緩和ケアに関する相談ができると知った



その他自由記載

なぜ「緩和ケア」の講演会を開催する必要があるのか